

# 子育て中のママのミカタ

## 岩見沢市の子育て

ママの味方は？

ママの見方は？

カナダの狩猟民族であるヘヤー・インディアンは日常生活を「働くこと」「楽しむこと」「休むこと」の三つに分けて考えており、子育ては「楽しむこと」に入っているそうです。子育て中の方、子育ては楽しいですか、辛いですか？これから子育てをする方、子育ては楽しみですか、それとも不安ですか？今月号は、現在、子育て中のお母さんたちに子育ての本音を聞いてみました。その答えに対して、市はどのような取り組みを行い、どのような取り組みを行う予定なのか、どのような課題があるのか…岩見沢市の子育ての今に迫ります。

## 子育てはどしどし？

いわみざわ子育て支援センターで、おしゃべりルーム「ばぶばぶ」を利用していただお母さんたちにインタビューしてみました。「ばぶばぶ」は、生後8か月までの第1子目の親子が参加しています。新米お母さんたちは、今の子育てについて、どのように感じているのでしょうか。



インタビューしたお母さんたちは、1人ではなく2人、3人と考えているようです。では、岩見沢市の状況はどうなっているのでしょうか。

今は、お子さんが1人ですが、何人くらい子どもが欲しいですか？  
● うちはまだ欲しいです  
● うちもそろそろ…早めに欲しいですね  
● できれば2人欲しいです  
● うちも2、3人欲しいですね



## 経済的な不安を…

子どもが生まれると、今までと比べて、経済的に大変だということはありますか？  
● 生まれてまだそんなに経っていないので、あまりわからないですね  
● 友達の中で、働いていたお母さんは、一時的に収入が減るので大変だということは言っていました  
● 保育料をもう少し安くしてくれるといいなと思います。2人で働いていても、保育料を払うと余裕がなくなってしまうので…

## 子どもの数は？

市内の子どもの数は、年々減少しています。世帯当たりの子どもの数をみても、2人以上が大半を占めています。これから子どもを産みたいと考えている人、2人目を産みたいと考えている人が、安心して子どもを産み、育てられるような取り組みが必要です。

1世帯の子どもの数	割合
一人	47%
二人	40%
三人以上	13%

※平成26年4月

やはり経済的なことは気になっているようです。

仕事と子育てを両立するためには、保育所を利用することになり、保育料がかかります。保育所を利用しなかったとしても、3歳以上になれば幼稚園に通う子どもも多く、幼児教育にお金がかかります。

## 認可保育所は

保育に係る負担を少しでも減らすと、市は4月から認可保育所の保育料の仕組みを変更しました。少子化、人口減少に向き合い、これから子どもを産みたいと考えている人、2人目を産みたいと考えている人も、安心して子どもを産み、育てられるまちを目指したものです。

## 幼稚園には二つの制度

平成27年度から始まった、子ども子育て支援新制度により、市内の私立幼稚園は、新しい制度で運営する幼稚園と、従来制度で運営する幼稚園の2種類にわかれます。

新制度幼稚園では、市が定める所得に応じた保育料を幼稚園に支払います。保育料は、認可保育所と同様に、減額細分化、第2子無料、第3子以降無料などの軽減措置を盛り込んでいます。



## 認可保育所保育料

**家計に合わせた保育料の減額・細分化**

- 国の基準額から50%～5%を減額します
- 国の基準では、8段階となっている保育料を18段階に分け、上がり幅を小さくします

0～2歳の例  
変更前 1～8階層 0円から104,000円  
変更後 1～18階層 0円から98,800円

**産みたいをかなえる第2子無料化**

きょうだい2人が同時に保育所を利用する場合、第2子の保育料を無料とします

変更前 半額  
変更後 無料

**多子世帯を支える第3子以降無料化**

第3子以降無料化の対象を国の基準に3歳上乗せして、小学3年生から数えて第3子以降とします

変更前 18歳から数えて第3子以降無料  
変更後 小学3年生から数えて第3子以降無料

**生活設計に配慮した経過措置**

今回の見直しにより負担が増える次の方は、経過措置として、2年間は引き続き無料とします

- 第2階層（無料から3,000円～4,500円になります）

※ただし、ひとり親家庭や障がいをお持ちの方がいる家庭は経過措置終了後も無料。

- 3人きょうだいの第1子が小学4年生以上

## 新制度幼稚園（岩見沢天使幼稚園、岩見沢聖十字幼稚園）

**家計に合わせた保育料の減額・細分化**

- 国の基準額から50%～10%を減額します
- 国の基準では、5段階となっている保育料を9段階に分け、上がり幅を小さくします

変更前 1～5階層 0円から25,700円  
変更後 1～9階層 0円から23,130円

**産みたいをかなえる第2子無料化**

小学3年生から数えて第2子の保育料を無料とします

変更前 半額  
変更後 無料

**多子世帯を支える第3子以降無料化**

第3子以降無料化の対象を国の基準に3歳上乗せして、小学6年生から数えて第3子以降とします

変更前 小学3年生から数えて第3子以降無料  
変更後 小学6年生から数えて第3子以降無料

**生活設計に配慮した経過措置**

今回の見直しにより、変更前の制度よりも負担が増える次の方は、経過措置として、2年間は引き続き無料とします

- 第2階層（無料から1,500円になります）

※ただし、ひとり親家庭や障がいをお持ちの方がいる家庭は経過措置終了後も無料。

- 3人きょうだいの第1子が中学1年生以上

## 従来制度幼稚園（よいこのくに幼稚園、岩見沢めぐみ幼稚園、駒沢幼稚園）

従来制度のまま運営する幼稚園については、これまでと変わりません。各幼稚園が定める入園料や保育料は、一旦保護者が負担した後、就園奨励費として所得に応じて、その一部または全部を補助することになっています。また、市独自で実施していた就園特例奨励（18歳から数えて第3子以降の入園料と保育料を全額補助）も、これまでと変わりません。



**医療費は…**

子どもの頃は、病気にかかりやすい点も心配ですが、医療費のことで何かありますか？



●医療費を助成してくれているので、すごくありがたいと思っています  
●お金のことを心配しないで、受診することができず

子どものちょっとした体調の変化でも、不安になることがあり、保育所や幼稚園など集団生活を送る中では、感染症にかかることも多く、その医療費が気になる場所です。市は、北海道基準を拡充した乳幼児等医療助成事業（所得制限あり）で、市民の皆さんの負担を軽減しています。

●通院医療費の助成対象は小学3年生まで（北海道は未就学児童）  
●入院医療費の助成対象は中学生まで（北海道は小学6年生まで）  
※10月から小学生までを中学生までに拡充  
●自己負担相当額の全額助成  
問合せ先 市国保医療助成課

りがたいです  
●「ばぶばぶ」を第1子以外の子どもも集まれるように拡大してほしいですね  
●「えみふる」ができて、「ばぶばぶ」に来たついでに保健師さんに相談できるので、すごく便利になりました

**孤独を感じる…**

子育ては、楽しいことばかりではなく、時には辛いこともあるでしょう。そんな時、どうしていますか？  
分らないこと、困ったことがあったとき、近くに親族や友人がいると安心ですが、転勤で住むところが変わったり、近くに頼れる人がいなかったりと、不安や孤独感で辛くなることも。  
インターネットで、情報は集めやすくなりましたが、膨大な情報から答えを見つけるのは大変です。

家の中、親子だけで向き合う毎日、お互いにストレスがたまるもの。思い切って出かけてみると、楽しいことに出会えるかもしれません。



**働く。パパとママを応援**



現在は育児休暇中という方もいらっしゃると思いますが、病児保育や病後児保育はどう思いますか？  
●そういう施設があるのはありがたいのですが、数が少ないように感じます  
●いっぱい使えないと困るので、稼働状況などを知りたいですね



仕事に復帰した後のことは当然気になりますよね。子どもが病気の際、専用施設で預かる病児・病後児保育は、働くパパとママを応援しています。  
●病児保育、病後児保育とも一日当たりの定員は3人です。平成27年度の稼働率は、病児52%、病後児8%



**頼れる人が身近に**

児童館や地域の会館など15か所で開催されている「地域親子ひろば」は、主任児童委員を中心に、保健推進員やボランティアなど、地域の人の手で運営されています。「こんなに手はよく来たね」「大きくなったね」と声をかけてくれる人がいる。そこは、親子で交流する場所であると同時に、頼れる人に出会う場所でもあります。



**働いていて、こんな時は**



子どもが熱を…。でも今日は仕事が休めない…  
1週間は安静と言われた。そんなに仕事を休めない…

子どもがケガをして自宅療養中。保育所はまだ無理だけど、そろそろ仕事に行かないと…

となっており、十分余裕があります。風邪などにかかりやすい2、3月は利用できない日がありましたが、利用のない日もあり、概ね受け入れ可能となっていますので、ご安心ください。

病児保育（9西7 市立総合病院院内保育所併設）  
病気の回復期には至らないが症状が安定し、入院治療の必要はないと医師が判断した場合に利用できます  
病後児保育（東町1-8 東保育園内）  
病気の回復期に至っているが、集団保育が困難で安静の確保に配慮する必要があると医師が判断した場合に利用できます



**何気ない会話が**

この春オープンした、こども・子育てひろば「えみふる」は、子ども・子育てを応援する中心施設です。3歳以下のお子さんは、子育て親子ひろば「ひなたっ子」で同世代の親子と交流することができます。広々としたあそびの広場には、子どもが好きなことがいっぱい。悩みや不安を聞いてほしい時は、いわみざわ見沢保健センターでサポートします。  
顔をみて、誰かと向き合っている話を。「えみふる」で交わされる何気ない会話が心を軽くしてくれることもあるはず。



**親も泣き、笑い**

子育てで一番楽しい瞬間は？  
●子どもが笑っている表情を見ているときです  
●夜泣きでわんわん泣いた後にぐっすり寝たその寝顔がかわいいです  
●ハイハイとか、おすわりなど、はじめてできたときに感動します



辛い、苦しいときは？  
●夜泣きでなかなか寝てくれないときです  
●離乳食が始まって、冷たいものを食べなかつたときは、どうして？と悩みました



困ったときは、どうやって解決してましたか？  
●「ばぶばぶ」に来て、お話ししました  
●専門の栄養士さんがいるので、あ



保護者の不安な気持ちは不思議と子どもにも伝わってしまいます。親が笑顔でいるときは、子どもも笑顔になっていくもの。子ども、保護者、子育てを応援する人も、みんなが笑顔になるための場所が「えみふる」です。

ここにこ笑う子どもの笑顔は、保護者、支援者、地域の人へとまちな体に広がっていきます。笑顔の輪が、みんなの幸せを紡いでいく。それが、岩見沢市が目指すまちの姿です。

子どもたちは、「岩見沢市のたから」です。市は、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる快適なまちを目指し、さまざまなサポートをしています。

自分一人の力でできることは限られています。はじめからうまくできることばかりではありません。一人で抱え込まないで、声を出してアドバイスを求めましょう。  
完璧な親なんていないのですから。

問合せ先 市教委子ども課